



ぴっぴだより

No.5 2020. 7. 31

5月のぴっぴだよりでさやかさんが『何も無い』が『造り出せる』という記述がありました。私も以前、さいたまのこども園に勤めていた時に似た感覚を覚えた経験があります。以前居た場所は住宅地の中にある小さな園だったのですが、子ども達に自然の中で遊ぶ楽しさを感じて欲しいと思い、子ども達を連れて木々の茂る森の様な緑地公園へ行きました。子ども達がどんな反応を示すのか楽しみにしていたのですが、緑地公園に到着した子ども達は辺りを見回し「何も無いじゃん。」と呟きました。子ども達の言う“何か”とは滑り台やブランコといった固定遊具や、おもちゃのことを指し、遊ぶ為の道具が何もないという意味だったと感じました。しかしその場には走り回れる広い空間、様々な植物や木の実、そこに住む虫達、隠れたり登ったりできる茂みや木が生い茂っていました。初めはこの自然に溢れた環境を何もないと思った子ども達も次第に森の中で遊ぶ楽しみに気付いていき、帰る頃には「もっと遊びたかった。」と渋る姿がありました。遊具に囲まれ、遊びを与えられた環境の中にいたら気が付けられない楽しみがそこにはあったのだと思います。

ぴっぴの子ども達はこの自然に囲まれた森の中での風景が日常で、常にこの環境にいるからこそ遊びを生み出す力が溢れ遊びや時間に制限がなく過ごせていることを感じます。この森の中の自然で満ち溢れた環境は何も無いのではなく、不必要な物は何もなく、心と身体を養っていく上で必要な物が全てある洗練された空間なのだと思います。1から自分たちで作上げていく、見つけていく事ができる空間。ぴっぴに来て1番に思ったのがこの子ども達は肉体的にも、精神的にも強いと感じました。発想や行動、時間の自由が子ども1人1人の充実感に繋がっていてそれが心の芯を形成していくのだと身をもって感じています。

先日、おおくりの子ども達とキャンプを行いました。キャンプでどんな事がしたいか1人1人が自分のやりたい事を伝え合い、それをどの様にしたら実現出来るのか、どんな準備が必要か、時間帯はどうするのか具体的に考えながら少しずつ話し合いを進めて行きました。話し合いが進むに連れて子ども達の期待が高まって行くのを感じました。子ども達の作ったキャンプのスケジュールは皆の思いがたくさん詰まった物になりました。おおくりがキャンプを楽しみにする様子にくりの子達の中にも「僕たちもキャンプするんだー。」と言い出す子ども達が現れたほどでした。キャンプの日の朝、大きな荷物を抱えて登園してきたおおくりの子ども達は

これから始まる楽しみに胸が躍る様子が言葉を交わさずとも体から溢れ出ているのを感じました。その日はびっぴの森で夜のお風呂で使う水遊び用の道具を作ったり、カブトムシを捕まえる為の虫トラップを作ったり森の中で鬼ごっこをしたりそれぞれがキャンプでやりたかった事をしてたっぷり遊びました。大きい組の帰りの集まりでは、まだ帰らないおおくりの子ども達はその嬉しさからくり、まつぼっくりの子ども達の前で“♪キャンプだほい”を踊りその楽しそうな様子にくりやまつぼっくりの子ども達も帰りながらおおくりの踊りを真似している子もいました。

夕方、荷物をバイブルキャンプ場へ運びこれから何をするかスケジュール表を見ながら子ども達と話し合いました。「お部屋で自分たちの持ってきたお気に入りの人形でゆっくり人形遊びがしたい。」「作った虫トラップをびっぴの森に仕掛けに行きたい!」「夕飯作りをしたい!」と自分のやりたい事を伝え合い、様々な意見が出る中で時計に目をやると針は16時前をさしていました。夕飯が18時だから夕飯作りは16時半頃からはじめたい。急いで虫トラップを仕掛けに行かなければ夕飯作りに間に合わない!この時私は内心、焦りを感じていました。子ども達のやりたい事はたくさんあるが実現するには時間が迫っていたのです。お部屋で遊びたい子どもと、虫トラップを仕掛けに行く子どもとに別れ、虫トラップを仕掛けに行く子は小雨が降って来ていたので1度部屋に戻り準備をしてからびっぴの森へ向かいました。準備が整い出発する頃には16時を回っていました。急ぎ足で出掛けて行き、いつものびっぴへ到着すると非日常だった空間から慣れ親しんだびっぴの森を目の前に安心したのか、子ども達は各々森の中へ遊びに駆け出して行きました。ここで、私は正直イラッとしてしまいました。(時間がないのに!!!)子ども達を急いで呼び集め、何をしにここに来たのか。虫トラップを仕掛けるのはやらなくて良いのか。説教に近いトーンで話をしていたらみるみる子ども達の表情が曇っていくのを感じました。そこでハッと我に帰り、時間を気にしていたのは自分1人だった事に気が付きました。子ども達はただ目の前にある事を全力で楽しもうとしていただけなのに。今やりたい事を楽しむ。キャンプの目的の1つを見失いかけていた瞬間でした。「イライラしちゃってた。ごめん。」と子ども達に謝罪し、夕飯の準備はバイブルにいる皆に任せる事にして、ここでたくさん遊んでから夕飯に間に合うように帰ろうという事にしました。少し暗くなってきた雨の降るびっぴの森の中でいつもと少し違った特別な時間を楽しみました。自分自身も勝手に時間に追われていた時と、時間を忘れて楽しんでいた時との心境の変化に気が付きました。カッパを着ていてもずぶ濡れになり、バイブルへ戻ると「こんなにビショビショになって。楽しかった?」と仲間達が温かく迎え入れ、夕飯準備を一緒に出来なかった事を咎める仲間は誰もいませんでした。自分1人の焦っていた思いを反省しました。びっぴで子ども達と関わっていると、子どもとの向き合い方を今一度考え直させられる場面に多く出会えます。子どもと向き合う中で悩みや新たな気づきを得ながら成長していけるこの環境に自分自身が身を置ける事を嬉しく思っています。

: 菅 悠介



オニグルミ

森の入口あたりの地面に青い梅のよけな実が転がっていたら、それはアジの实。この青い部分 雌花 ににはタンニンが含まれ、苦味があるので、かじりいすは、

土にうめて、外皮をくさらせてから食べます。でも、割って、春に芽が…。くるみの方がさらにかじりい!!

アブラチャン



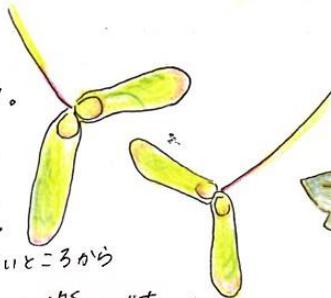
黄緑のまん丸の实を半分にわると、透明なゼリー状の果肉があらわれます。とてもいい香り。虫よけの交果も、実が茶色く、果肉が白くなると熟したサイン。着火剤などにも使えます。なのであぶららん!

イロハモミジ



もみじの種は双子のプロペラ。

茶色くなり、乾いた風にくるくると舞います。たくさん集めて高いところから投げるとくるくるくる... 楽しいですよ!



子どもたちのポケットやおまごとして、ころん、ころん♪と丸い木の実がみられる

季節になりまは。 「実りの秋」はまだ先ですが、森では少しずつ秋への準備が進んでいます。 といってもまだ熟してはいないので、木の実の色はだいたい葉と同じ緑色。

まだ、重カ物や鳥にらに食べられたり、葉と同じ色をしてカモフラージュしています。でも、子どもたちと森を歩けばきっとみつけます! 熟すまでは、あまり

とりすぎないようにして(笑)

ぜひ、探してみ

くださいね!

:葉と実



ミツバウツギ

黄緑のさやの中には白いお米のような実が、2~4個入っています。秋になると、さやも実も茶色くなり、実はカリッと少し塩分も含まれています。イカルなどの鳥が好んで食べる様子が秋~冬にみられます。

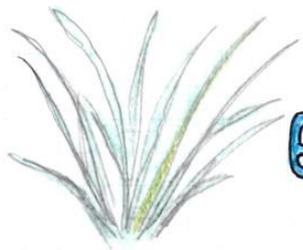
今日のTeatime

くずの花Tea

「葛粉」や「葛根湯」などでなじみのあるくず。

野原や空き地、川沿いに一面のやぶをつくるつる植物です。夏~秋に咲く甘い香りの花を摘みとり、紅茶などと混ぜて、フレーバーティーにしてみよう! 花もくず粉と同様に風邪の症状や肩こりなどとやわらげる成分が含まれています。びっぴの森にもありまよ!





田んぼと畑から



田んぼの草取りに行ってきました！

しっかり雨が降る梅雨の日々...の中で、この日に予定してよかった！と思えるようないいもりのお天気でした。

5月に植えた稲は伸び、青々と成長しています。こどもたちと今の稲の様子を見たい、稲だけじゃなく、そのまわりにいろんな草が育っていること、お米ができてあがるまでのと中の田んぼを一緒に感じたかったのです。

「4-4でやろう」と田んぼの中で声がします。「取りがいあるね」「まだまだあるね」バケツに、取った草を入れます。あ、という間にバケツが草でいっぱいになります。それを田半まで運ぶのが重いこと、重いこと。「もう少し減らすか？」「行けるよ！」「次はもっと(水気を)「ぼろろ」...バケツに草を投げ入れる。入ると「タイスカー」の声。

別の苗と苗のすきまの大きなところでは、7人の男の子が3匹はいすりまわっています。はいすりまわりながら、たまに手で草を取っているようで、取った草が置かれてたまっています。そこへ別の子たちの取った草が合体。大きな草の山に。

田半では「草取りがんばれー」と応援する声も聞こえます。たらい風呂で泥を落とす姿、ジョーロのシャワーをかけてあげる姿も見えます。

そして、おなかがついておにぎりを食べたあとは、スイカ割り！順番に手ぬぐいで目隠ししてスイカに向かいます。なかなか割れなかったのが最後 おおくりさんたちで割れてむし暑さもある中 みんなで食べたスイカの美味しかったこと！
また 田んぼに行きましょう！ はるこ

やまもり祭のお知らせ...

10月30日(金)に開催となりました！内容は今考え中です。
楽しい時間が過ごせるように、準備など無理のないところで関わっていただけたら嬉しいです。

《 8 月のお知らせ 》

コロナ渦の世の中、繰り返しメディアで伝えられる感染者数、死者数、失業、不景気、差別や偏見、人との距離、…大人も子どもも、心に影響を深く受けどんなに心細く、萎縮しそうになった半年だったでしょう。特に小さな子どもたちは、マスク姿だけの大人をどう感じているのでしょうか。初めて出会ったどんぐりさんたちに、こんな顔だよ、安心してね、大丈夫だよ、楽しいね…を全身で現したくて、何度マスクを取りそうになったか…。7月からは保育中のみ、マスクを外していますが。

そんな時だからこそ、子どもたちには「ホッとして過ごす時間」「楽しい時間」を意識した一学期でした。ぴっぴの森でみんなと自由に、夢中に、思う存分、関わり、探究し、好奇心旺盛に過ごしてきました。たった数ヶ月の出会いのどんぐりさんも、すっかり仲間になっています。子どもたちの大切な生活を共に守ってくださり、ありがとうございます。たくさんのご協力のおかげです。

また二学期が見通しにくい世の中ですが、子どもたちが活力をなくさないよう、これからも精一杯子どもたちと関わっていきます。二学期もよろしく願いいたします。

子どもたちのエピソードから、今回もたくさんの深い読み取りができます。大人にはあっという間の時間でしたが、子どもたち一人一人には宝ものような一日一日でした。心と身体を充分休め、また二学期の歩みを元気に始められますように。

駐車場のご協力もありがとうございます。保護者会はもちろんですが、えりんこたいそうなどでバイブルメインハウスをお借りしている時は、メインハウス前ロータリーも駐車可能です。その日の予定でスタッフが使っている時もありますが、送り迎えでお使いいただくのは大丈夫です。ただ、子どもたちが混乱しないように、ぴっぴの森の往復は道路からまわってくださいようよろしく願いいたします。

今年度は短い夏休みになりましたね。8/21（金）楽しみにお待ちしておりますね。

：眞弓

●8月の予定

- ・二学期始業日 21日（金）

※ぴっぴだよりお知らせ版配布

- ・おかえりなさいの会&ぽろぴっぴ&大人のおかえりなさいカフェ 22日（土）

- ・森作り 23日（日）9時頃～

※作業内容、参加表共に21日に黒板に張り出します。

- ・えりんこたいそう 24日（月）

- ・ちょこミック 27日（木）

- ・くるみの日 28日(金)
- ・入園説明会 29日(土) 10時～ ぴっぴの森
- ・スタッフやまほいく研修会 in 飯綱 30日(日)
- ・色の時間 31日(月)
※アートセットを忘れずに！

●おおきくみ(継続)説明会のご案内 9/1(火) 9:30～バイブルメインホール
※来年度への継続を希望されていらっしゃる方はご出席くださいますよう、お願いいたします。当日、継続書類をお渡しいたします。

●8/21～31日のぽっけ 21日(金)、24日(月)、26日(水)、27日(木)、28日(金)、31日(月)

